

RESOURCE
CIRCULATION
KANAGAWA



第9回安全衛生大会の実施結果

【速報】

平成30年7月10日(火)14:00~16:50、
情報文化センター 情文ホール
参加者 85名



◆当日の講演資料については、会員専用サイトに掲載します。◆



金田副会長の開会あいさつ



平成30年度 労働安全衛生の標語（スローガン）の選考結果

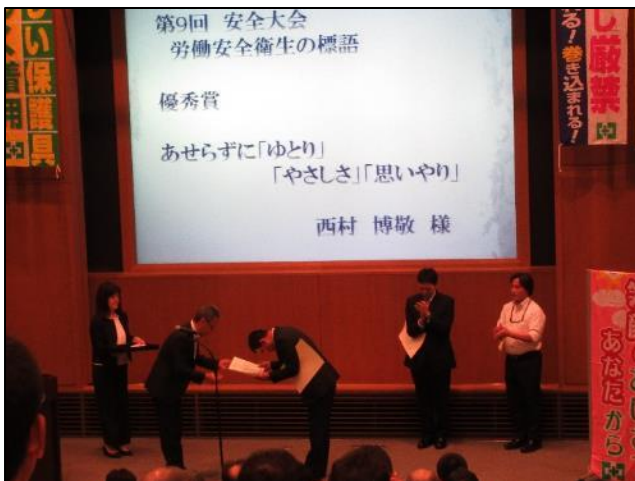
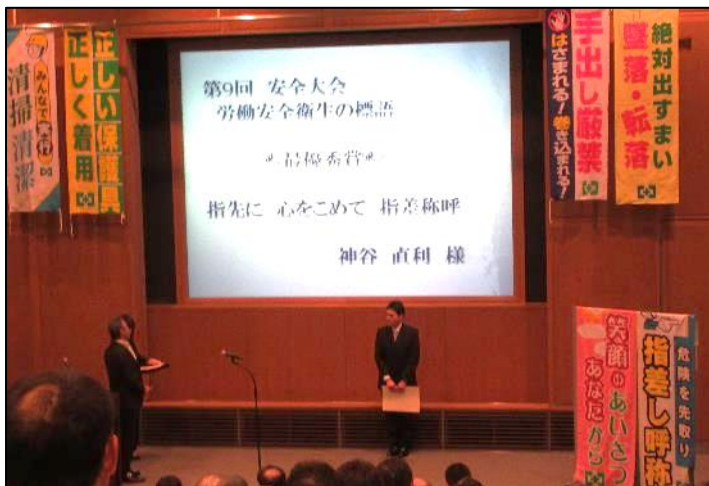
■ 最優秀賞 ■

指先に 心をこめて 指差称呼

JFE環境株式会社 神谷 直利 様の作品

安全衛生の標語（スローガン）の投稿 511 言から選び抜かれた優秀賞です。
おめでとうございます。

会員番号	会社名	氏名	スローガン
1045	SBS即配サポート株式会社	大西 佳代	大丈夫！ 過信が招く事故災害
786	株式会社IWD	橋本 正夫	気の緩み ふとした瞬間 大事故に！
1045	SBS即配サポート株式会社	金山 貴徳	気を抜くな ゆるむ心に ひそむ事故
1045	SBS即配サポート株式会社	菅家 栄一	危険だと 気付く目 探す目 感じる目
786	株式会社IWD	西村 博敬	あせらずに 「ゆとり」「やさしさ」「思いやり」



■ 講演 ■

『産業廃棄物処理業における安全衛生管理の進め方』

講師 神奈川県労働局労働基準部安全課 安全専門官 渋谷 勇一 氏



『第12次労働災害防止推進計画』について
全国の災害発生件数をみると、東京、神奈川、
埼玉、千葉がずば抜けて多く、平成29年度最終
目標の死亡者数39人は達成したが死傷者数は
達成できなかった。産業分類の中分類に位置付け
られる産業廃棄物処理業は過去6年を見ると平成
26年をピークに減少もしくは横ばい傾向である。

平成29年では、墜落・転落、転倒、はさまれ・
巻き込まれ、無理な動作、飛来・落下が70件発
生し、全体の72.2%を占めており、産業廃棄物処
理業5大災害に位置付け対策を強化していくとの
説明がありました。

『危険予知(KY)活動を取り入れて、労災を未然に防止しよう』

講師 労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏

協会が実施した安全衛生活動調査によると、
取組みのトップは、朝礼であり、次に安全パトロー
ル、5S、ヒヤリハットと続き、KY活動は第5番
目である。一方、製造業や建設業においては、ほ
ぼ100%実施しており、危険を予知しておくことは
安全な作業環境を整備するうえで欠かせないも
のとなっている。

しかし、会員企業でKY活動を実施しているの
は、全体の45%に過ぎず、作業開始前に作業
場に潜在する危険源を予測し対策（作業行
動）を中心に検討することで、作業者に安全に
対する参加意識を芽生えさせるとともに、自分の
ことを決めるので責任感が強くなる、との長所が見
込まれる。

今回は、特別に作成した作業のイラストを見な
がら、参加者一人一人にどこに危険が潜んでい
るか発言してもらった。その結果、危険は、1つだけ
ではなく、置かれている状況や環境に左右されて
いることがわかった。そのほか危険予知の留意点
や、好事例、安全対策について詳しく説明があり
ました。



このイラストの
どこに危険が
潜んでいるで
しょうか？





若松安全衛生協議会議長の閉会あいさつ

ご安全に！

(公社)日本保安用品協会によるパンフレット・資料、各種保護具の展示

